

フルートの歴史 たどる演奏会

12日 深志教育会館で

古い時代から現代までの楽器でフルートの歴史をたどる演奏会「昼下がりの古楽その2」が12日午後2時から、松本市蟻ヶ崎3の深志教育会館で開かれる。楽器の時代背景に合わせ、客席の間近で演奏するサロン風コンサートとして10曲ほどを奏でる。

オランダ在住のトラベルソ奏者・築城玲子さんが昨年に続き出演。現在のフルートの原型となるフラウト・トラベルソを中心に、より古いルネサンス・フルートと現代の3種類で楽器ごとの時代の曲を披露する。古楽器のために作曲された現代曲「トラベルソのためのコントラクション」も聴きどころとなる。

安定した力強い音色の現代のフルートに対し、古いものは奏者の技術が問われる翳々とした雰囲気の魅力という。主催する古楽を聴く会の代表で古楽に造詣の深い山村光久さん「松本市今井」は「演奏は世界レベル」とい

い「一期一会の生演奏で、質の高い美しい音楽を楽しんでいただければ」と願う。

参加費3000円

(当日払い)で要予約。申し込みは山村さん(☎090・1665・2279)へ。

(鎌倉 希)

来場を呼びかける山村さん

